

Photo ふなばし

とくしゅう
PART 1

第75回全国高校サッカー選手権大会
市船イレブンが2度目の全国制覇



2万5,000人の大観衆から祝福を受けた優勝パレード

MOVE

全国初

海水利用の大規模消火システムが完成
災害時の消火用水を確保

とくしゅう
PART 2

防火

— 便利さに
慣れて忘れる
火のこわさ —

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財 / ふなばしの民話
市民ひとことインタビュー



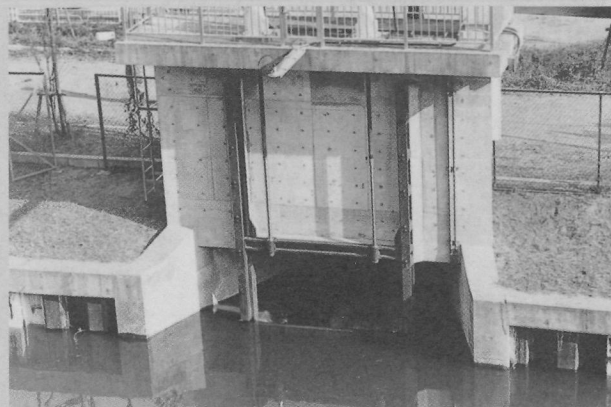
皆さんも防火に心がけましょう

vol. 77

広報ふなばし写真版

1月号 (隔月第4月曜日発行)

下水道利用方式

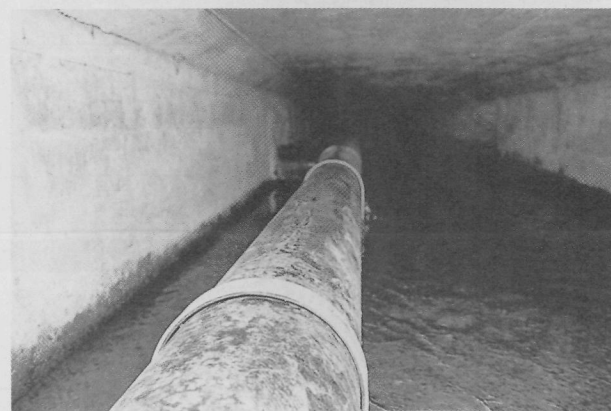


水門をあけて、雨水放流管に海水を逆流させます



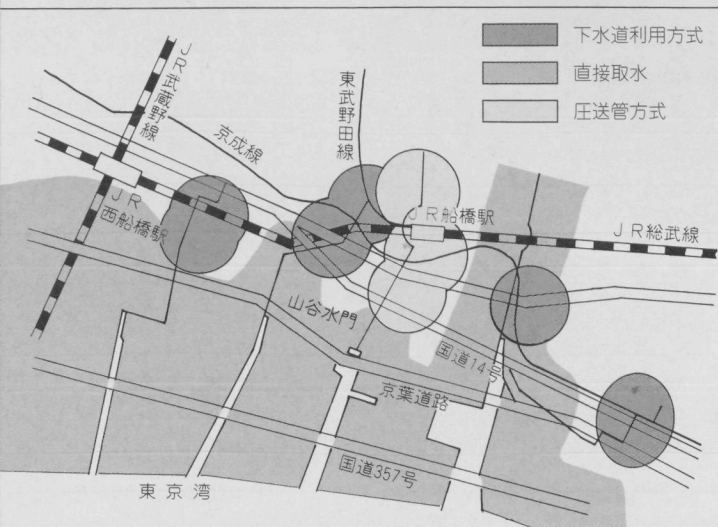
雨水放流管のマンホールから海水をくみ上げます

圧送管方式



下水管内に敷設された圧送管による消火システムは、昨年5月に完成しました

大規模消火システムによる消火活動可能範囲



12月14日に行われた下水道利用方式の送水式と放水訓練。これで、大規模消火システムのすべてが完成しました



送水式であいさつに立つ大橋和夫市長

MOVE

全国初

災害時の消火用水を確保

海水利用の大規模消火システムが完成

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、断水によって消火栓が使えなくなり、消火活動に大きな支障をきたしました。船橋市では、消火のための水をどのようにして確保するかという課題に積極的に取り組み、下水道管などに海水を逆流させ、消火用水として利用する全国で初めてのシステムを完成。12月14日に海神小学校で送水式と放水訓練を行いました。

今回完成したシステムは、下水道の雨水放流管に海水を逆流させ、マンホールからくみ上げて消火活動を行う下水道利用方式です。

海水等を利用した大規模消火システムは、これ以外に二つの方式があります。一つは、海や河川などから直接水をくみ上げる直接取水。もう一つは、ポンプでくみ上げた海水をパイプ（圧送管）を通して消火栓へ送る圧送管方式で、既に昨年5月に完成しています。

今回の下水道利用方式の実用化によって、海水等を利用した大規模消火システムのすべてが完成しました。これにより、震災が発生して断水した場合でも、JR総武線の南側を中心とした1010ヘクタールの地域で消火活動が可能になりました。

